

## 『文化を培うこれからの国土交通行政を考える懇談会』について

- 国民の心の豊かさやゆとりのある生活を実現するとともに、今後の日本の経済的な活力の維持増進を図っていく上で、「文化」は重要な要素であり、国土交通行政の推進にあたっても、「文化」の創造や継承に取り組むことは重要な課題。
- 有識者等からのヒアリングなどを通じ、従来の枠にとらわれず幅広い観点から、文化の創造や継承に向けた行政のあり方について検討を行う。

### 主な検討の視点

地域における歴史や伝統を継承・再生するとともに、  
新たな文化を創造する

文化力により地域活性化・経済活性化を図る

将来の文化を生み出す基盤である、  
文化的な水準の高い国土空間・都市空間を整備する

伝統文化の継承や新たな文化の創造、  
地域づくり・まちづくり等を担う人材を育成する

ハード施策のみならず、ハードの使い方や人々の活動への  
支援等のソフト施策の充実を図る

短期的な経済性や効率性のみにとらわれることなく、  
長期的視点に立って取組を推進する

- 今や日本は、経済的側面での生活水準は国際的に見てもトップレベルにあるものの、文化的側面での水準は未だレベルが高いとは言えない。
- 一方、先進国の物まねから脱して日本独自の文化を世界に発信することの出来る分野や世代も育ちつつある。
- さらに、各地域における誇り・アイデンティティの形成等における文化の役割の拡大や、まちづくり団体等による文化の創造の取り組みが拡大しつつある。
- 我が国の将来的な投資余力の減少や当面の財政制約を踏まえつつ、将来に残る文化性の高い国土空間の整備が重要である。
- このような状況の中で、今後、経済の持続的な発展を図りつつ精神的な面も含めより一層の豊かさを実現するとともに、国際社会で経済や技術力以外でも評価され確固たる地位を築くために、行政においても文化の創造・継承という視点を正面から捉えた取組が必要である。